

# 競技要項 ショートトラックスピードスケート

## 1.競技種目

- ①25m レース(直線)
- ②55m レース(半周)
- ③111m レース(1 周)
- ④333m レース(3 周)
- ⑤500m レース(4.5 周)
- ⑥1000m レース(9 周)

## 2.会 場

磐梯熱海アイスアリーナ

## 3.競技ルール

国際スケート連盟競技規則最新版、日本スケート連盟競技規則最新版、公式スペシャルオリンピックス冬季スポーツルール(2010 年 1 月改訂版)による。ただし、本大会ルール委員会によって定められた細則が優先する。

## 4.エントリー

1 人1種目のエントリーとする。

## 5.ディビジョニング及びスペシャルオリンピックス精神の遵守

アスリートとコーチは、公式スペシャルオリンピックススポーツルール(2010 年 1 月改訂版)第 1 章総則セクション I をよく理解しておくこと。

## 6.競技方法

### 1)レースの進行

- ・ 数名のアスリートを1組とする集団出走とし、各アスリートのスタートの位置は抽選により決定する。
- ・ スケーターはスタート時にスケート靴のブレードを完全にスタートラインの手前に置いて立たなければならない。
- ・ 次の出発の号令と合図を使用する。
  - I. 「GO TO THE START」(位置について)、スケーターはスタートラインに進みスタートラインの手前にスケート靴のブレードを置く。
  - II. 「READY」(用意)、スケーターはスタートの姿勢をとる。
  - III. ピistol発射でスタートの合図とする。
  - IV. スタートの合図があるまでアスリートはスタートしてはならない。フライングを2回したアスリートは失格とする。
- ・ アスリートは規定周回数の後、最初に到達しているブレード前方の先端がフィニッシュラインに到着したときにその距離を完了したものと認められフィニッシュとする。
- ・ フィニッシュラインの直前で転倒した場合も(たとえアスリートの身体がトラックの外に出ていてもフィニッシュラインの延長線であれば)同様の取り扱いとする。

## 2) 競技記録および順位

- ・ 予選の滑走は 2 回とし、タイムの良い方を基にディビジョニングする。(但し、競技進行上 1 回となる場合がある。)
- ・ 決勝の滑走は 1 回とし、タイム結果の良い方から順位を決める。
- ・ 予選の滑走で 2 回とも失格となった場合は失格となり、決勝では該当ディビジョンの最後に滑る。表彰式へは他のアスリートとともに参列する。
- ・ 招集所までのアスリート誘導は、コーチかボランティアが誘導しても構わない。

## 3) 失格

- ・ 追い越しの際に起きた事故や衝突の責任は、追い越す側のスケーターにある。ただし、追い越されるスケーターが適正を欠いた場合は、この限りでない。
- ・ 並んで同時にコーナーに入った場合、トラックの外側のスケーターに追い越し権がある。
- ・ スケーター本人の優位を得るために、他のスケーターを故意に妨害したり、身体のいかなる部分も押ししたりしてはならない。
- ・ 故意にスピードを落として他のスケーターのスピードを落とさせたり、衝突させたりしてはならない。
- ・ スケーターは、故意に他のスケーターの進路を横切ったり、他と共謀したり、またその他いかなる手段によっても、他のスケーターを妨害してはならない。
- ・ レース中に他の者から身体的援助を受けてはならない。
- ・ スケーターは、コーナーのトラックマーカを故意に動かしてはならない。
- ・ スケーターは、他のスケーターをスケート靴で故意に蹴ったり、フィニッシュラインを横切って身を投げ出したりして、他のスケーターに危険が及ぶような行為をしてはならない。
- ・ 失格は、各組の終わりごとに競技者、チームリーダーまたはコーチに告知されなければならぬ。また、会場アナウンスにより観客にも公表される。
- ・ フライングを 2 回したスケーターは失格になる。

## 4) 用具

- ・ すべてのスケーターは、長袖長ズボンのユニフォーム、膝当て、脛あて、切傷予防の為に有効な手袋かグローブ、頭部を完全に覆い顎の下で紐を結ぶことの出来る安全なヘルメットを必ず着用する。又、肘当ての着用も望ましい。
- ・ 頸部保護の為にネックプロテクターを必ず着用すること。
- ・ スケーターは必ずスピードスケート靴を着用しなければならない。
  - \* 但し、スラップ型のスピードスケートは着用してはならない。スピードスケート靴が無い場合はホッケースケート靴を着用しても良いが、直線競技(25m レース)に出場のアスリートに限りフィギュアスケート靴の使用を認める。
- ・ 全てのスケートは、閉鎖されたチューブを取り付け、ブレードの両端は、最小半径 10mm で丸くなっていなければならない。
- ・ ゼッケン、又は、ヘルメットナンバーは、ヘッドコーチミーティングにて配布する。

## 7. 抗議

ヘッドコーチのみ(欠席時は他の登録コーチ)、最初のリザルトの掲示後 15 分以内に、所定の用紙に必要事項を記入し抗議できる。

## 8.その他

- ・ 本ルールおよび競技要項に定めない事項は、その都度ルール委員会が決定する。
- ・ エントリー種目を決定する際には、公式スペシャルオリンピックス冬季スポーツルール（10年版）第VI章スピードスケートセクション G を参考にすること。

## 9.競技日程

- |          |          |
|----------|----------|
| 2月11日(土) | 開始式・予選競技 |
| 12日(日)   | 決勝・表彰式   |